

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	<b>模範解答</b>

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

1 次の文の \_\_\_\_\_ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。 **レベル3**

(1) シュウ中して勉強する。

- 1 週      2 習      3 終      4 集

4

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

- 1 返る      2 買える      3 帰る      4 代える

3

返る⇨もとにもどす      変える⇨今までとちがったものにする  
 帰る⇨もとの場所へもどる      代える⇨あるものに、ほかのものの役目をさせる

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

2 次の \_\_\_\_\_ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、書きましょう。 **レベル7**

(1) 広間に集まる。

読み方	読み方
ひろま	ひろま
音・訓	音・訓
訓	音

(2) 広大な土地。

読み方	読み方
こうだい	こうだい
音・訓	音・訓
音	訓

【文の構成を理解する問題】

3 次の文の主語・述語を \_\_\_\_\_ 線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。 **レベル7**

(1) きのお わたしは 友達と 児童館で 遊んだ。

主語	主語
2	5
述語	述語
2	5

(2) 水族館で 見た 魚には、青く 大きな ひれが あった。

主語	主語
6	7
述語	述語
6	7

主語は、「だれが(は)」「何が(は)」に当たることばです。  
 述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの□の中からえらび、二つの文にして書きましょう。

□

レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持っていない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。

たくさん走った。

だから

足が痛かった。

雨がふりそうな天気だ。

しかし

かさを持っていない。

だから つまり しかし また

だから||前の文から予想される文が次に来ることを表す。

つまり||前の文についての説明を表す。

しかし||前の文と反対になるような文が次に来ることを表す。

また||前の文に、後ろの文をつけくわえることを表す。

ここでは、「雨がふりそうな天気」に対して「かさを持っていない」と反対の内容が続くため、「しかし」を用います。

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の□は、何を指していますか。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もよりのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家遊びに行った。

こそあど言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「着る」が続くため、直前の文の「水玉もよりのブラウス」を示していると分かります。

水玉もよりのワンピース

【反対の意味を理解する問題】

6 □の言葉と反対の意味のことを、書きましょう。

レベル5

電車が動く。

止まる

反対の意味の言葉にはいろいろな組み合わせがあります。

例「上る」と「下る」

「行く」と「帰る」

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	<b>模範解答</b>

【「話すこと・聞くこと」の問題】

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

まゆみさんが、南町図書館の館長さんにインタビューをしています。

まゆみ 「こんにちは。わたしは、南小学校の北川まゆみです。きょうは、館長さんに図書館のことを聞きにきました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

館長 「わたしもふくめて全員で四十人です。多くの仕事があるので、みんなで手分けをしてはたらいています。」

まゆみ 「たくさんの方がはたらいっているんですね。ここではたらいっている人は、  
A  
」。

館長 「図書館での仕事は、本のかし出しや本の相談、図書館のそうじなどをして  
います。来てくれた子どもたちに読み聞かせもします。」

まゆみ 「いろいろな仕事があるんですね。  
この図書館には  
B  
」。

館長 「この図書館は、日本のお話や外国のお話、絵本などたくさんの本があります。とくに、子ども向けの本がたくさんそろっているので、たくさんの子  
どもたちに来てもらい、本を読んでほしいですね。」

まゆみ 「わたしも本を読みに来たくなりました。たくさんのことを教えていただき、  
ありがとうございました。」

一 インタビューの A と B の部分で、まゆみさんは、館長さんにどんなことを聞いていますか。 に当てはまるように、まゆみさんが言った言葉を考えて書きましよう。

レベル6

(1)

「たくさんの人がはたらいているのですね、ここではたらいている人は、

A

どのような仕事をしていますか。

」

※同様の答えは正答とします。

(2)

「いろいろな仕事があるのですね。この図書館には

B

どのような本がありますか。

」

※同様の答えは正答とします。

まゆみさんのしつ問に対して、館長さんが答えています。つまり、まゆみさんのしつ問の内容は、 A B の後の館長さんの話から考えることができます。

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【条件に沿って書く問題】

- 1 Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめました。メモ①②③の中から、あなたが遊んでみたいものをえらび、〈注意〉をまもって書きましよう。

レベル7

メモ

## ②二色おぼろげゲーム

- ①まず集まった人を、「青組」「赤組」「白組」の三つに分ける。  
（色は何色でもよい。人数によっては、チームの数をふやすこともできる。）
- ②青は赤からにげ、赤は白からにげ、白は青からにげる。タッチをされたら、そのじんちに連れていかれる。
- ③決められた時間をたたかい、相手をつかまえた数をもっと多かったチームが勝ちとなる。

## ④聞き耳ゲーム

- ①四〜五名のグループになり、聞き取り役を一名と言葉を言う人に分ける。
- ②言葉を言う人たちでテーマを話し合い、テーマにあった言葉をそれぞれ決める。
- （例）テーマがぐだもの・言葉を言う人が四人の場合
- Aさん↓りんご、Bさん↓バナナ、Cさん↓パイナップル、Dさん↓みかん
- ③合図で、言葉を言う人が決めた言葉をいっせいに言う。
- ④聞き取り役は、聞こえた言葉から、テーマを当てる。
- ⑤聞き取り役がテーマを当てたら、聞き取り役の勝ちとなる。

## ⑤ろくむしゲーム

- ①二十メートルほどはなれた場所に二つ円をかく。
- ②二人のオニと、子（オニいがい）を決める。
- ③二人のオニは、子をねらってボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよけながら、はなれた円の間を行き来（おうふく）する。
- ④ボールに当たらずに「おうふくしたら「いちむし」、二おうふくしたら「にむし」・・・となり、「ろくむし」まで行けば子の勝ちとなる。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

### 【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子が見えがかれている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といって、三びきの魚の子供は、ついにその花びらをのんでしまいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、たからです。

### 【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子が見えがかれている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをわかりました。

「だって、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けっして、川などへいってはいけません。」と、母親はいいました。子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） \_\_\_\_\_ アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。レベル6

「それ」の前にある言葉をさがします。捕らえるものは「赤い魚」であることがわかります。

赤  
い  
魚

(2) ———— イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の□に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。レベル6

母親が言ったことを

ほ ん と う

にはせず、赤い魚を捕ま<sup>つか</sup>えるために

川 の ふ ち

をうろついた。

———— イの後の子供たちの様子を読みとります。

・子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。

・(子供たちは) どうにかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、

川のふちへきてはうろついていました。

という内容から、□に合うように言葉を書きぬきます。

(3) さめざめと泣いたのです。の理由として、もつともふさわしいものを次の1～4の中から一つえらびましょう。レベル6

- 1 子供の魚の色が変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れてきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまうから。



1

理由をたずねる問題です。理由を表すときには、「～から」「～ので」「～ため」などの言葉を使って書かれることが多くあります。この文章中では、「黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので。」とあり、子供の魚の色が変わってしまったことが理由だとわかります。